



KPU NEWS



2007年度の入学式を迎えるにあたって

学長 西野 武志

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本日、激しい受験戦争を終えられ、京都薬科大学に入学を果たされた皆さんならびに大学院修士・博士前期課程及び後期課程の皆さんに、教職員一同心よりお祝いを申しあげます。

皆さんは大学に入学されて一つの目標を達成された訳ですが、それに満足して歩みを止めない事が重要で、今が将来のスタートラインに立ったところだという事を絶えず意識しておいていただきたいと思えます。大学でどのように過ごすかが、皆さんの将来を決定することになります。今までは偏差値重視の教育、すなわちひたすら暗記を中心とした教育に慣れ親しんでこられたことと思えます。その結果偏差値は上がったと思えますが、本当の意味での実力は偏差値と比例していないと認識しておかなければなりません。今まで学んで来られた教育の弱点として、①受験に必要なことだけを学校や予備校で要領よく学ぶ効率型学習の結果、受験に無関係な知識が極端に不足している、②自分の将来の人生設計を語るができない等と指摘されています。従って、大学では今までのようにバケツに知識を詰め込む

けではなく、バケツの知識に火を点ける。すなわち、自分で思考する・思索を深める時間を多く持つことが必要になります。

特に薬学関係では国の施策で、医薬分業が推進され、現在、全国で分業率が平均で約55%ですが、その多くは病院の前あるいは横などにある薬局いわゆる門前薬局が大部分を占めています。厚生労働省は元々地域に根ざした薬局を作り、薬局が地域住民の健康管理に役立つことを期待していますが、患者の理解もあまり得られていないのが現状かと思えます。地域に根ざした公共的な施設としては、世界でも注目されている日本独自の警察のシステム「交番」が存在します。昔の交番では、地域の防犯警備だけでなく、地域住民の人生相談なども行われていたようですが、私自身は将来的にはこの交番型薬局作りを目指すべきだと考えています。そのためには薬の専門的な知識だけではなく、幅広い一般的な教養・知識やコミュニケーション能力等を大学でしっかりと養成しておく必要があると考えています。

白熱電球や蓄音機など1,000を超える発明に成功し、「努力の人」として知られているエジソンは

CONTENTS

2007年度の入学式を迎えるにあたって	学長 西野武志	1~2
6年間は長くない	副学長 佐藤隆司	2
主役は君だ!	学生部長 井上武久	2~3
キャリアデザインを描こう	進路支援部長 谷口隆之	3
定年退職のご挨拶	教授 舟崎紀昭	3~4
卒業生からのメッセージ		4

特集 新臨床薬学研修センター	5~6
受賞	7
難病克服をめざした創薬科学合同研究成果発表会	7
クラブだより	8
Library News	9~10
お知らせ	11~12
京薬会だより	12

「人は持っている能力の1%も使い切っていない。天才とは1%のひらめきと99%の努力の賜物である。そして腕をきたえれば筋肉がつくように、頭もきたえれば使いものになる。」という言葉を残しています。日本の諺にも「努力に勝る天才なし」や「雨垂れ石を穿（うが）つ：雨垂れの水滴でも、石に穴をあける。すなわち微力でも努力を継続すれば目的を達成できる」があります。新入生の皆さんも継続して努力され、それぞれの目標に到達されることを期待しております。



6年間は長くない

副学長（教務部長）
教授 佐藤 隆司

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

薬学部始まって以来の大きな変革といわれた6年制も2年目に入り、新入生の皆さんは第2期生となります。本学も昨年第1期生を迎えて6年制教育を開始しましたが、この1年間は4年制カリキュラムの1年次と類似の科目も多く、担当教員の積極的な教育に対する取組もあり、さしたる問題もなくスタートできている感触を抱いております。6年制カリキュラムで実施を懸念しておりました新しい科目の一つで、卒業後に薬剤師として活躍する場や心構えを早期に体験修得する目的の「早期体験学習」も、受講学生諸君からは概ね好評で、無事1年目を終えました。新入生諸君も期待していただいよい科目の一つと思っております。

6年制という響きには長いと感じられる面もあると思いますが、実際はそんなに余裕がある内容ではありません。教養科目と基礎薬学専門科目の全ての単位を4年次終了時までには修得しておかなければならないからです。これは、5年次に行う6ヶ月の病院・薬局実務実習に取組むために必要な、薬に関する基礎的知識を十分に修得しておく必要があるからです。これらの関連科目の単位を全て修得しなければ5年次には進級できないという厳しい関門を設けております。すなわち専門を含めた薬学の基礎知識は最初の4年間で身に付けなければならないということを、しっかり頭に植え付けておいて下さい。

よく言われることですが、高校までの勉強はすでに答えが用意されて、これを解く方法を覚えるものでありますが、大学での勉強は答えを見つけ出す方法を考え（課題探求）、それに沿って答えを求めていく（問題解決）のものであります。この教育の型に早く慣れてください。大学生活の間には様々な困難

に直面することと思いますが、このようなこともこれからは自分で解決を見出す、自己解決能力も必要です。これが大人への成長の糧です。安倍首相は今年の施政方針演説で、「出来難き事を好んで之を勤むるの心」という福沢諭吉の言葉を引用し、困難な事にも進んで取組む心が今の日本をつくってきたと述べました。大学生生活をいかに過ごすかは皆さんが模索していく事ですが、6年間で果たすべき事は少なくありません。真に有意義に過ごされるよう望んでおります。



主役は君だ！

学生部長
教授 井上 武久

新入生の皆さん御入学おめでとうございます。皆さんそれぞれに事情は違うと思いますが、本学を積極的に選んだにせよ、やむを得ずにせよ、自身の選択を悔やむことなく、これから始まる日々の学生生活を楽しんでください。知的好奇心や内発的動機づけなしに高得点のみを目指した苦しい受験勉強の日々から脱却し、新たな目標に向かって日々精進していただきたいと思っております。

大学は、教育、研究活動を担う組織であります。が、「大学」にとって、一番大切なものは何か？それは「学生」さんです。学生さんなしには大学という組織は存在し得ません。そこで、大学にとって何が一番必要かと考えますと、それは学生さんが心引かれるものがあり、向上心、憧れが湧く「魅力ある教育環境」です。教育環境の理想型として福沢諭吉など多くの人材を輩出した緒方洪庵の「適塾」の例があります。その塾のシステムを紹介しますと、洪庵先生の講義は主ではなく、先輩が後輩に勉学を親切に教えることが主軸をなしていたそうです。ところが今日の「ゆとり教育」とは正反対に完全な実力主義で厳しいクラス分けが行われていました。それでも塾生同士互いに切磋琢磨する明るくよい関係を築いていたといえます。この「適塾」がうまく機能した要因を探りますと、第一に、日本一と誇れる「充実した教育内容」が挙げられます。第二に、洪庵先生の實力と人格から発せられる先生と塾生、先輩と後輩の親子や兄弟のような人間的な「絆」、この二つの要因が理想的な魅力ある教育環境をつくっていたと考えられます。塾生一人々の「誇り」と「絆」が「適塾」を支えていたのです。そうです！「魅力ある教育環境」をつくる主役は学生さん（塾生）一人々なのです。学生生活のなかで信頼できる

友達をつくり、自分で学問の面白みや学ぶ意味を見出してください。そして山科に「適塾」のような京都薬科大学を作って欲しいと思います。

“学生部”は、「主役」である皆さんが心身とも健康で有意義な学生生活を過ごせるようサポートするのが仕事です。気軽に利用して頂きたいと思いません。最後にもう一度 “主役は君だ”！



キャリアデザインを 描こう

進路支援部長
教授 谷口 隆之

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。希望を胸いっぱいに入學されたことと思います。わたしは進路支援部長として、皆さんに約5年後の就職活動に向けてのお話をしたいと思いません。

皆さんの就職先は広い意味での医療関係がほとんどだと思いますので、当然のことながらまず薬剤師国家試験に合格する学力を6年間で付け、薬剤師免許を取得しなければなりません。さらに、薬学部出身者が活躍する分野は多方面にわたるので、自分ほどの分野で働く（就職する）のが最もふさわしいのか、「人生の未来設計図」（キャリアデザインと言います）を描くことが必要となります。また多くの求人先が京都薬科大学に求める人材は、①いずれリーダーになりうる総合力のある人物 ②確実に与えられた仕事をこなせる人物で、人並み以上の人格と能力を持っている人物 ということでありです。そのために徹底的な自己分析が大切になります。たとえば自己の性格の長所と短所、価値観、さまざまな経験、身につけた能力などが約5年後の就職活動に必要となります。1年次生の今から自己を十分に高める努力をし、常に修正を加えながらより良い「人生の未来設計図」を作り上げていただきたいと思います。

薬科大学や薬学部の新設／増設にともなう薬学部卒業見込み生数のかなりの増加により、就職が厳しさを増すことは容易に想像できます。無為に日々を過ごすことは出来ません。勉学に、クラブ活動に、趣味に、と幅広く自己を磨いて、求められる京薬生をめざして下さい。

皆さんは、自分の適性を見極め、「人生の未来設計図」を作成し、進路を決定して下さい。進路支援部では、多くの資料、多くの卒業生の声などを揃え、またインターンシップ、進路ガイダンス、SPI適性模擬テスト、学内企業セミナーなどを企画し、皆さんの進路決定のお役に立てればと考えています。

定年退職のご挨拶



薬品物理化学教室

教授 舟崎 紀昭

昨年11月に定年退職いたしました。永年、お世話になりました。昭和48年(1973年)に本学に生物薬学科が設置されたときに採用され、以後ほぼ34年間、「物理化学」を担当しました。薬学部としては稀な第三の学科である生物薬学科の設置申請に対して、文部省は単なる入学定員増が目的ではないかと疑い、専任教員の増加、教養課程の独立(南校舎の建築)、放射性同位元素研究センターの設置、体育館の新築、実習研究棟(現8号館)の建築などの厳しい条件を付けて認可したと聞いています。本学にとって幸いであったことは、これらのビルの建築見積もりを石油ショックが始まる前の年に取っていたことです。特に、8号館の建設時には建築資材が値上がりして、受注業者が苦勞したと聞いています。当時、トイレットペーパーなどの生活必需品だけでなく、研究に必要な試薬の不足に備え、一部では試薬の買入れもあつたと記憶しています。1号館(本館)、3号館、4号館、5号館、7号館も今はなく、そこにあつた研究室などは近代的な7階建ての愛学館に移転しました。ビルの高層化により、キャンパスに余裕の空間が生まれ、大学らしい雰囲気になりました。

在職中に、博士後期課程の設置、博士前期課程(修士課程)の定員増、臨床薬学修士課程の設置、臨床薬学研修センターの設置、創薬科学フロンティア研究センターの建設、COE事業の開始など教育・研究上の目覚ましい進展がありました。特に、研究業績では日本の薬学部の中で注目される存在になっています。本学に対する評価は毎年上昇していくよい時代でした。

多くの学生にとって「物理化学」は薬学の専門科目の中でも最も難しい科目のひとつでしょう。物理化学を学ぶには高等学校と大学における物理学、数学などの基礎知識が必要です。これらの知識が不足する人にとって難しいと感じるのは理解できます。

「物理化学」の定期試験で、満点を取ってくれた学生がいました。そのときの教師としての感激を忘れられません。ある予備校による全国薬剤師国家試験模擬試験の物理化学分野における本学学生の得点は他大学生よりも優れていました。私も物理化学は難しい科目と思いますが、理解してしまえば、多くの

問題の解決に役立つ興味ある教科と思っています。

物理化学以外の基礎薬学、創薬科学および医療薬学の教科も物理化学的基礎に基づいて学問が高度化・体系化されるにつれてより難しくなっています。たとえば、化学反応速度論は物質の化学変化の速度を扱う学問ですが、この理論が体内における物質の存在部位（たとえば、血液など）への移行速度を扱う薬物動態学の基礎になったことは、今では忘れられるほど新しい学問に同化してしまっています。どの専門教科も難しくなる宿命にあります。難しいことを教えるには講義時間を長くする必要があります。教育すべき内容が時代とともに増えたことが2006年度入学生から薬学教育6年制に変更になった理由のひとつでしょう。6年制教育では薬剤師国家試験の前にコンピュータを利用した薬学会による試験（CBT）が実施されます。CBTでは従来の薬剤師国家試験よりも出題範囲が広がります。物理化学も例外でなく、物理化学全般から出題されます。

残念なことは、在職中に6年制の薬学生を教える

機会ができなかったことです。今年の本学の後期科目「やさしい身の周りの化学」を非常勤講師として担当する予定です。在職時代に難しいことを教えた罪滅ぼしに、図と写真を使って、分かりやすく日常生活にも役立つ化学の話をしたいと準備中です。ぜひ多数の本学2年次生が受講してくれることを期待しています。

40年近くもの永い論争の末、薬学教育を6年に延長することで決着しました。私の大学院生時代からの懸案事項が私の定年前に解決してよかったと思います。薬学教育、薬学研究、薬剤師の将来を予測するのは困難です。医療の場で確固たる役割を担う薬剤師を見て、薬学教育を6年に延長してよかったことを見届けたいと思います。また、現在のように製薬企業でも薬学部出身者が活躍することを期待します。

最後に、今後の学生諸君と教職員の皆様のご努力とご多幸を祈ります。

「卒業生からのメッセージ」

今年も国体出場を・・・



東 富雄

昭和63年卒（薬理学教室）
株式会社TSD Japan
臨床開発本部長

2006年兵庫国体（のじぎく国体）のセーリング競技成人男子470級（全長470cmのヨットで行う競技）に、私（右）がスキッパー（主に舵取り）、国広先輩（昭和61年卒、左）がクルー（主にナビゲート）として出場しました。470級はヨット競技の中では最も盛んな階級であり、2004年のアテネ五輪では日本男子チームが銅メダルを取得しています。今回の国体の出場選手の中には、過去の五輪に出場した選手や当時のナショナルチームの選手、次の北京五輪をめざすナショナルチームの選手も参加しており、非常にレベルの高いレースとなりました。

私がヨットを始めたのは大学生になってからです。同志社、立命などの有名校と違い、ほとんどの部員が未経験者でしたが、先輩方のお陰でとても活気のあるクラブでした。そんな環境の中、当初は先輩からの知識の入力が中心でしたが、他の大学の練習方法やヨット雑誌等の情報、またその情報の実践とその結果の共有化を図ることで、自分から次々と発信できるようになりました。また後輩への的確な発信を意識することで、ヨットに対する考えもよりシンプルになり、どんどんヨットが好きになりました。実際、2年次生以降は週5から6のペースで午前6時半からはヨットの練習、午後からは実習又は教室

と、授業を受けた記憶がないぐらい練習していました（笑）。全国大会は今回の国体が初めてでしたが、今でも第一線でヨットに乗れるのはこの時の経験があったからだと思います。

チームとして、個人として高い目標に向かうためには、知識を広げるのは当然として、的確な発信をする必要があります。自分勝手な発信は自己満足に過ぎず、個人、チームに対して何ら得るものはありません。発信の大切さを意識すること、それは仲良しグループではなく、目標を持った集団（例えばクラブ活動など）から得ることができます。いい先輩、友達、後輩に恵まれ、あなたの発信が受け継がれるような学生生活が送れるといいですね（ちなみに当時は上下級生との交流も盛んで、クラブに所属していなくても発信できる機会が多くありましたよ）。さあ、後輩には奢りましょう！！京薬の伝統です。

さて、国体の結果ですが、43都道府県中35位と散々でしたが、非常に楽しめました。今年は秋田で国体があります。連続出場できるように後輩の指導のかたわら、練習しよう。



特集

新臨床薬学研修センター

高度先端医療に対応できる薬剤師の養成を目指し、本学が建築を計画してきた新臨床薬学研修センターが2月初旬に着工になった。新臨床薬学研修センターは6年制に移行した薬学教育を支える中核的な施設で、高度な医療知識、調剤技術、患者対応能力を持つ薬剤師養成のための研修センターとしてその役割が期待されている。新しい薬学教育制度に従って導入された共用試験がここで実施される予定だ。愛学館に次ぐ新館として建築される新臨床薬学研修センターの全容とその具体的な機能を紹介しよう。

新臨床薬学研修センターの建築

臨床薬学教育研究センター長 横山 照由

2006年4月より薬学教育6年制がスタートしました。京都薬科大学がめざす6年制教育目標の一つに、医療技術の高度化、医療分業の進展に伴い、高い資質と創造性をもった薬剤師の養成があげられています。これらを達成するためには、実務実習の充実が求められます。6年制の新カリキュラムには、5年次に病院・薬局での5ヶ月間実務実習が実施されますが、これに先立ち4年次後期に学内で1ヶ月間の事前実務実習が行われます。この実務実習事前教育には、2002年に発表された薬学教育モデルカリキュラムの教育目標（一般目標・到達目標）として、「卒業後、医療に参画できるようになるために、病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師職務に必要な知識、技能、態度を修得する」と説明されています。

本学では、1997年に病院・保険薬局での実務実習を円滑に行い、教育効果を最大限に挙げることを目的に、総合薬学教育センター1階に中規模病院の薬局を模したモデル薬局として臨床薬学教育研修センター（総面積320㎡）を設置しています。現在、本センターで3年次後期に1週間の病院薬学の実習および病院・薬局実務研修のための導入教育を行っていますが、1学年360名の学生を対象に、モデルカリキュラムの内容を1ヶ月かけ実施するには、物理的に不可能な状態です。

今回、薬学教育6年制のスタートを機に、新臨床薬学研修センター（以後、新センターと略）の新築が決定され、本年2月に着工となりました。新センターは、旧4号館跡地に3階建てで建設され、延べ面積は、2345㎡で1,2階が実務実習室になります。1階部分は保険薬局受付カウンター、調剤室、無菌製剤室、院内製剤室、注射薬調剤室等で、2階

は模擬病室、薬歴管理室、コミュニケーション用演習室、医薬品情報管理室、薬物治療管理室（TDM）等です。新センターでは、薬剤師の基本的業務から最新の業務に対応できるシステムが導入されています。

また、6年制では学生が長期の実務実習に行く前に、実習に対する技能・態度を評価する共用試験としてOSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）が実施されますが、この試験にも対応できるように各室の面積も考慮されています。

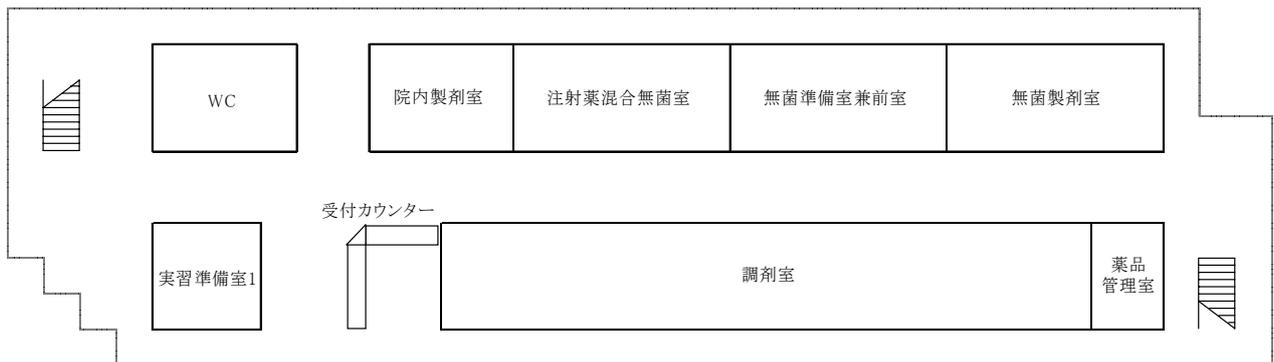
新センターは、予定通り進行すると2007年11月末頃に完成です。京都薬科大学の6年制に対応する新しいシンボリックな建物になるものと期待されます。



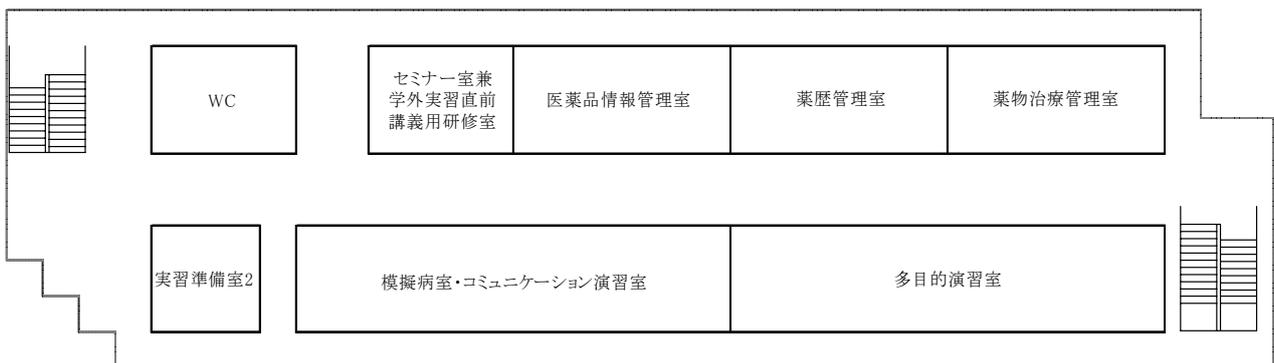
新臨床薬学研修センター 外観



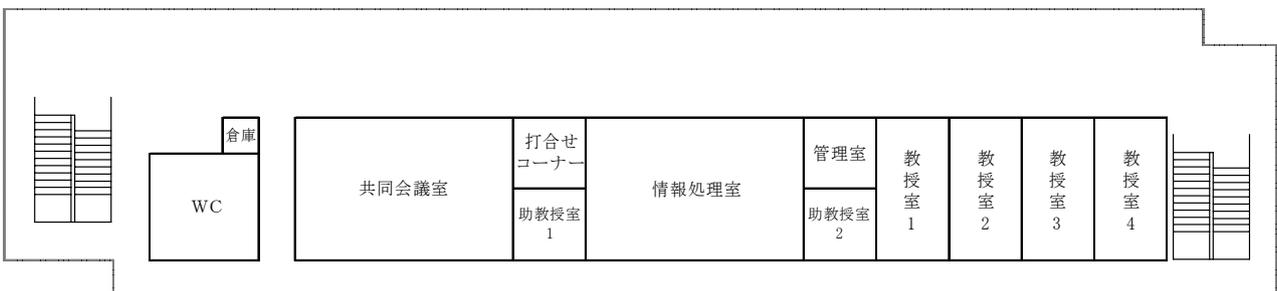
1階



2階



3階



受賞

日本消化管学会奨励賞 受賞

薬物治療学教室 畑澤 亮さん(博士後期課程2年)が、2006年度日本消化管学会奨励賞を受賞しました。受賞の対象となった研究題目は、Roles of Endogenous Prostaglandins and Cyclooxygenase Isozymes in Healing of Indomethacin-Induced Small Intestinal Lesions in Ratsであり、インドメタシン誘起小腸傷害の治癒過程におけるプロスタグランジン/EP受容体サブタイプの役割を解明したことが評価されました。



日本神経消化器病学会奨励賞 受賞

2006年10月10日に札幌にて開催された第5回日本Neurogastroenterology (神経消化器病)学会で、薬物治療学教室 栗飯原永太郎さん(博士後期課程2年)による研究の成果が認められ、同学会奨励賞を受賞しました。カプサイシンによる胃アルカリ分泌刺激作用の機序を解明したことが評価されました。



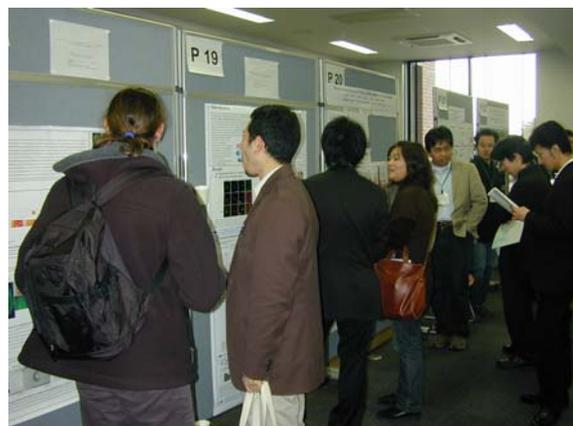
10th Korean Peptide Symposium
Poster Award 受賞

2006年11月30日~12月1日、韓国・ソウル大学で開催された10th Korean Peptide Symposiumにおいて、薬品化学教室 谷口敦彦さん(博士前期課程2年)が行ったポスター発表(演題“Click Peptide”: The “O-Acyl Isopeptide Method” for Peptide Synthesis and Chemical Biology-Oriented Development of Amyloid β Peptide Analogues)が優秀であったと評価され、Poster Awardを受賞しました。



難病克服をめざした
創薬科学合同研究成果発表会 開催

2007年1月26日~27日の2日間にわたり、本学21世紀COEプログラム「統合創薬の開拓」、本学創薬科学フロンティア研究センター、本学オープンリサーチセンターが主催する標題の学内発表会が本学愛学館において開かれました。22題の口頭発表、32題のポスター発表が行われ、18教室ならびにCOEプロテオーム支援室から180名以上が参加しました。助教授や助手の先生をはじめ、博士研究員、博士前期・後期課程の学生の皆さんなど、学内の若手研究者が集う活発な討論会となりました。



ポスターセッションの様子

ク ラ ブ だ よ り

管弦楽部

こんにちは、管弦楽部です。

管弦楽部は2、3年次生を中心に56名で活動しています。去年の主な活動実績を紹介しておきますと、

8/14～8/20に長野へ夏合宿

11/4に京葉祭にて演奏

(曲目:パイレーツ・オブ・カリビアンメドレー 他)

12/2に第34回定期演奏会

(曲目:ドヴォルザーク 交響曲第8番 ト長調 他)

となっています。

今年も12月2日(日)に 長岡京記念文化会館において開催する第35回定期演奏会

曲目:シベリウス作曲 交響詩「フィンランディア」

ドリーブ作曲 バレエ音楽「コッペリア」より

ベートーベン作曲 交響曲第5番 ハ短調

開場:18:30 開演:19:00

にむけて部員一同、一生懸命練習していきます。是非ご来場ください。

この他にも新入生歓迎ハイキング、アンサンブル大会、クリスマス会、セミナーハウスでの弦の集い、管の集いなどなど部内イベントがたくさんあります。

なお管弦楽部についての詳細は下記のホームページをご覧ください。

<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~kpuorche/>

ユーベルコール部

混声合唱団ユーベルコールは、音楽好きな・のんびり好きな人が集まって、昼休み12:40～13:10と木曜17:00～19:00に2号館2階222教室にて活動しています。合唱組曲やポップス、ミサ曲や洋楽といったジャンルの曲を練習しています。現在、大学から歌をはじめた人が部の80%を占めていますが、個々の気持ちを大切にしたい伝統あるユーベルハーモニーは今なお健在です!

昨年11月の第43回定期演奏会も皆様のご支援により終了することができました。ありがとうございます。今後も素晴らしい曲をお届けできるよう励んでいきます。

< 今年の活動実績 >

2月 春合宿 (3泊4日:三重にて)

3月 卒業式学歌斉唱

4月 入学式学歌斉唱、新入生歓迎コンサート

5月 新入生歓迎パーティー

6月 合唱祭 (京都府)

8月 夏合宿 (5泊6日:兵庫にて)

11月 第43回定期演奏会 (京都市東部文化会館)

12月 ユーベルクリスマス会

京都府内の大学の合唱部の人が集まって行うソフトボール大会やCA合宿などのイベントなどにも参加しています!今後の活動等につきましては、ユーベルホームページ <http://xxxjubelxxx.fc2web.com/> をご覧ください。

陸上競技部

陸上競技部です。2年次生と3年次生の部員22名(女子13人)で活動しています。大会は年に4回あります。また、12月の学内駅伝は私たち陸上競技部が中心となり準備しています。また、春、夏の長期休み中に合宿をすることもあります。

活動実績 (2006年度)

5月 全日本薬学生対抗陸上競技会 (東京) 総合2位

8月 関西薬学生対抗陸上競技会 (大阪) 総合2位

全日本医歯薬獣医大学対抗陸上競技選手権大会 (京都)

10月 関西医歯薬科学生対抗陸上競技大会 (大阪)

12月 学内駅伝準備

3月2日 2007年クラブ始め

3月17日 卒コン

今後の予定 (2007年度)

5月 全日本薬学生対抗陸上競技会 (岐阜)

新歓

8月 関西薬学生対抗陸上競技会

(京都 京都薬科大学陸上競技部が主幹)

全日本医歯薬獣医大学対抗陸上競技選手権大会 (未定)

10月 関西医歯薬科学生対抗陸上競技大会 (三重)

幹部交代

12月 学内駅伝準備

予定は以上の通りです。今年は、私たち京都薬科大学陸上競技部が主幹を務めさせてもらうことになっている大会もあり、忙しい年となりますが、いっそう頑張ってクラブをより良いものにしていきますので、今年もよろしくお願ひします。

Library News

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。みなさんに図書館の利用について、ここで簡単に説明いたします。

開館時間 平日 9:00～18:00

土曜日 10:00～17:00

夏期 9:00～17:00 (夏期：2007年7月27日～2007年9月17日)

休館日 日曜日、国民の休日、本学創立記念日

夏、冬期休暇中の一定期間、行事などによる臨時休館日

開館時間の変更、臨時休館日などは、その都度お知らせします。

貸出方法 学生証と資料をカウンターに提示して下さい。貸出冊数は5冊以内とし、貸出期間については、一般図書は2週間以内、学術雑誌、製本雑誌等は1日です。

貸出予約 資料が貸出中の場合、予約ができます。予約資料が返却されると、掲示板にてお知らせします。

返却方法 借りた資料は、カウンターへ返却して下さい。返却の際、学生証は不要です。延滞した場合は、延滞した日数×2の期間、貸出を停止します。

図書館利用検索(OPAC)

<http://libopac.kyoto-phu.ac.jp>

学内のパソコンからWebで資料検索を行うことができます。

京都薬科大学 図書館

[詳細検索](#) [English](#) [Help](#) [戻る](#)

全資料 ▼
全て ▼
未所蔵を含む ▼
表示件数 20 ▼
所蔵を表示する ▼

キーワード ▼

所在

全て ▼

検索
クリア
ギリシャ・キリル文字

[LINUS/NC OPAC]

タイトル、著者名、出版者など自分が検索したい本についてわかっている情報を入力して下さい。

53. [薬物による予期せぬ作用：生化学・薬理学テキスト / R.R.Raje, P.D. Wong\[著\]；森昭胤監訳；野田泰子,熊谷学訳. --じほう, 2003](#)

所在	請求記号	巻冊次	図書番号	利用状況	予約
第1閲覧室	491.5 R.8		108878F	保管中	

54. [薬理学マニュアル / 高柳一成, 中山貢一編集. -- 第4版. -- 南山堂, 2002](#)

所在	請求記号	巻冊次	図書番号	利用状況	予約
第1閲覧室	491.5 T.5 c		108605H	貸出中 (20060223)	

55. [薬理学 / 柏谷豊, 加藤仁, 重信弘毅編集. -- 改訂第4版. -- 南江堂, 2002 -- \(Integrated essentials\)](#)

所在	請求記号	巻冊次	図書番号	利用状況	予約
第1閲覧室	491.5 R.6 b		108665B	保管中	

56. [最新薬理学：医療薬学 / 重信弘毅, 長友孝文編集. -- 第6版. -- 廣川書店, 2002](#)

所在	請求記号	巻冊次	図書番号	利用状況	予約
書庫5層	491.5 S.6 b		108620B	保管中	

該当する本の名前、貸出状況、所在などが表示されます。

図書館

詳しい利用方法は、利用案内、学生便覧をご覧ください。その他利用についてわからないことがあれば、カウンターでお尋ね下さい。

学生用図書の購入について

平成18年度の私立大学経常費補助金特別補助のうち、図書館から申請しておりました学生図書の購入費について承認されました。そこで、①専門図書の複数整備、②医療薬学、臨床薬学系科目の図書の充実、③医学、薬学関係の視聴覚資料の充実を図る為、次のとおりに購入しましたので、ご利用下さい。

The Merck index 14th ed	Maryadele J. O'Neil, ed./ Merck Research Laboratories
やさしい薬事法:医薬品のライフサイクルを追って第5版	薬事法規研究会編/じほう
薬学情報学 改訂2版	新谷 茂 [ほか] 編集/じほう
服薬指導のためのくすりの効き方と作用	国正淳一著/じほう
医療従事者のためのEBMサプリメント事典	蒲原聖可著/医学出版社
疾病と病態生理 改訂第2版	橋本隆男 [ほか] 編集/南江堂
微生物学:病原微生物の基礎 改訂第5版	柳原保武, 多村憲編集/南江堂
漢方処方のおくみと服薬指導	森由雄著/南山堂
医学・医療の品格	久道茂著/薬事日報社
薬局・薬剤師のための調剤事故防止マニュアル	日本薬剤師会編/薬事日報社
医療薬学フロンティア	日本医療薬学会編集/薬事日報社
検査値のみかた	中井利昭 [ほか] 編集/中外医学社
アンチエイジング医学:その理論と実践	吉川敏一編集/診断と治療社
マクマリー生物有機化学	McMurry, Castellion著, 菅原二三男監訳/丸善
イラストレイテッドハーパー・生化学	Robert K. Murray [ほか] 著, 上代淑人監訳/丸善
ローレンス臨床薬理学	ベネットブラウン著, 大橋京一 [ほか] 監訳/西村書店
新・病態生理でできた内科学:3-7, 9	医学教育出版社
目で見える薬理学入門 第2版 Vol. 6-12	医学映像教育センター/医学映像教育センター
生命の科学 Vol. 1, 3, 5-8	医学映像教育センター/医学映像教育センター
コメディカルのための疾患の知識 Vol. 11, 12	医学映像教育センター/医学映像教育センター

他 232冊



4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

臨時に閉館することがありますので、図書館掲示板を確認して下さい。
太字は休館日です。(5/31・6/29は、館内整理日)

お知らせ

他大学の科目・講座を 受けてみませんか!!!

【単位互換制度】

本学は「大学コンソーシアム京都」の単位互換制度に参加しており、京都地域を中心とした大学・短期大学が提供する科目を履修し、単位を修得すれば本学の単位として認定されます。（2006年度は46大学から約550科目が提供されました）

つまり、京都薬科大学に在籍しながら他大学の授業を受講することができるわけです。修得した単位は、1年間2科目4単位を限度として、本学の卒業要件である「人と文化」の選択科目の単位として加算され、それを超えて履修した科目の単位については、自由科目として認定されます。（本学での取扱いについての詳細は、学生便覧及びシラバスを参照して下さい）

単位互換制度の特徴として、

- ①講義科目は文化・芸術・政治・自然科学などほぼ全ての学問分野にわたる科目が10テーマに分類され提供されている。
 - ②講義形態は持ち出し講義と既存講義があり、持ち出し講義は集中講義や土曜日・夏季休暇期間に開講されるなど、他大学生でも受講しやすいよう工夫されている。
 - ③持ち出し講義の開講場所は、大学交流センターの「キャンパスプラザ京都」（京都駅前）にて開講される。
 - ④講義を受講することにより、他大学生との交流の機会が広がる。
 - ⑤受講生は単位互換履修生として身分証明書が発行され、科目開設大学の図書館等を利用することができる。
 - ⑥全ての科目を無料で受講できる。
- などという点も、この制度の大きな特徴と言えるでしょう。

受講の申し込みは、前期・集中・後期科目とも4月10日（火）まで教務課で受け付けます。詳しい授業概要等については教務課にて配布している「単位互換履修生募集ガイド」を見て下さい。

また、大学コンソーシアム京都ではホームページ上で単位互換科目のシラバスを公開しています。
 <PC><http://www.consortium.or.jp/student/tan-i/>
 <携帯><http://www1.consortium.or.jp/mobile/>
 科目開講時には休講・補講・試験等の連絡事項も閲覧することができます。

奨学金のご案内

大学で借りることができる奨学金は、①日本学生支援機構奨学金 ②京都薬科大学奨学金（大学独自の奨学金） ③地方自治体の奨学金 ④企業・団体の奨学金に大別できます。

それぞれについて、以下に簡単に説明します。

①日本学生支援機構奨学金

「第一種奨学金」（無利子）と「第二種奨学金」（有利子）の二種類の奨学金があります。

4月初旬に、説明会を実施しますので、希望者は必ず出席して下さい（詳細は奨学金関係掲示板に掲示）。

奨学生に採用されると、卒業するまで奨学金が貸与されます（ただし留年及び休学中は停止）。

なお、1年次生で奨学生に採用されなくても、2年次生以上の各学年で再び申請することができます。

○第一種奨学金（無利子）

- ・学 部 月額 54,000円（自宅）
月額 64,000円（自宅外）
- ・修士、博士前期 月額 88,000円
- ・博士後期 月額 122,000円

○第二種奨学金（有利子）

次の4種類から希望月額を選択できます。

- ・学 部 3万円、5万円、8万円、10万円
- ・大学院 5万円、8万円、10万円、13万円

○入学時特別増額貸与奨学金（有利子）

大学、大学院の第1学年において日本学生支援機構が定めた年月を始期として奨学金（第一種・第二種）の貸与を受ける者が対象。

- ・一律 30万円

○緊急・応急採用奨学金

出願の1年以内に家計を支えている者が、失職・破産・会社の倒産・病気・死亡等により家計が急変したため緊急に奨学金の必要が生じた場合に随時受け付けています。

②京都薬科大学奨学金（無利子貸与）

- ・学 部 年額800,000円以内
- ・大学院 年額700,000円以内

学部生・大学院生併せて20名程度を募集します。

9月の下旬に、説明会を開催しますので、希望者は必ず出席して下さい（詳細は奨学金関係掲示板に掲示）。

決定するのは11月初旬の予定で、同月下旬には、奨学金を一括支給します。原則として、1年限りの奨学金です。

③④地方自治体、企業・団体の奨学金

これらの奨学金については、学生課を通じて募集するものについては、募集の都度掲示板に掲示します。ただし、直接それら団体が募集するものについては、各自地元の教育委員会等に問い合わせして下さい。

い。

以上簡単に説明しましたが、奨学金に関する質問などがありましたら、早めに学生課へお問い合わせ下さい。

2006年度学位記（博士・修士）及び卒業証書・学位記（学士）授与式

2006年度学位記（博士・修士）及び卒業証書・学位記（学士）授与式を、3月17日（土）午前10時から中央講堂兼体育館で執り行いました。

大学院博士後期課程4名、博士前期課程75名、修士課程32名に学位記（博士又は修士）、学部薬学科119名、製薬化学科113名、生物薬学科105名に卒業証書・学位記（学士）、また学長賞として成績優秀者に賞状と記念品が、西野学長から授与されました。

今年も多くのお客様の方々やご父母の列席を賜り、滝野理事長、西野学長はじめ教職員の暖かい祝福に送られ、皆元気に懐かしい学窓を巣立っていきました。

式終了後、午後1時より、本学中央講堂兼体育館で、「卒業記念祝賀会」が開催され、卒業生、ご父母、また、本学卒業30周年を迎える昭和52年卒業生を交え、楽しいひと時を過ごしました。

学位記（博士）授与式

3月17日11時30分から愛学館第1会議室において、2006年度課程博士5名及び課程によらない博士（後期）5名に、西野学長から学位記が授与されました。

2007年度入学試験結果について

2007年度の学部入学試験が終了しました。志願者数・合格者数は下表のとおりです。

少子化の進展及び6年制へ移行したこと等の影響により、2007年度も薬系私立大学への志願者数は、さらに減少すると予測されていましたが、本学への全体の志願者数の減少は、前年比8.4%でした。

（2006年度は、前年比22.9%の減少）

	募集人員	志願者数	合格者数
一般公募制推薦	73名	235名	84名
一般入学試験A方式	30名	878名	345名
一般入学試験B方式	190名	1373名	599名
一般入学試験C方式	5名	64名	35名

（以上のほか、指定校推薦入試を実施しています。
合格者数は3月10日現在）

人 事

昇任

2007. 4. 1付

遺伝子工学教室	教 授	加納 康正
薬物動態学教室	准教授	杉岡 信幸
臨床薬学教育研究センター 施設課	講 師	津島 美幸
	課 長	宮本 孝

採用

2007. 4. 1付

物理学教室	教 授	有本 收
薬品物理化学教室	教 授	小暮健太郎
機能分子化学教室	助 手	久留米 愛
薬物動態学教室	助 手	福島 恵造
進路支援課	主 査	小里 芳顕

退職

2007. 3. 10付

施設課	課 長	鈴木 武彦
-----	-----	-------

2007. 3. 22付

物理学教室	教 授	小池千代枝
-------	-----	-------

2007. 3. 31付

臨床薬学教育研究センター	助教授	大西 憲明
薬品化学教室	助教授	林 良雄
薬剤学教室	助教授	藤田 卓也
薬品物理化学教室	助教授	廣田 俊
薬物動態学教室	助 手	伊藤由佳子
機能分子化学教室	助 手	川崎 郁勇
薬物治療学教室	助 手	田中 晶子
衛生化学教室	助 手	長井 克仁

称号授与

2006. 11. 28付

名誉教授	舟崎 紀昭
------	-------

京薬会だより

* 卒後教育講座

第32回卒後教育が5月13日より始まります。

昨年同様、開講日は5月、6月、7月、9月の年4回で、1日3コマ（1コマ90分）、受講料は2万円で受講希望者は今年も500名を予定しております。

演題は「胃食道逆流症と機能性ディスペプシア」、「高齢者の健康と漢方」、「処方解析と服薬指導」、「泌尿器疾患の実際と薬物療法」等医療現場に則した興味深いものばかりです。

* 2007年度代議員総会

今年の代議員総会は、5月19日（土）愛学ホールで開催されます。

午前に支部長会、午後に代議員総会が行われ、代議員制度自体についても検討される予定です。

* 分子模型の贈呈

新1年次生に化学構造を手にとりて見られる分子模型を贈呈します。

将来母校から、ノーベル賞受賞者の誕生を期待！